

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

令和 5年 1月19日

協議会名: 須賀川市総合交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
福島交通(株) ○須賀川市内東循環バス ・北町先回り ・仲の町先回り				【目標値】 26,182人/年(9.5人/1便) 【実績値】 31,054人/年(11.2人/1便) 【達成率】118.6% 引き続き、運行日を平日、土曜日運行することにより、利便性の向上を図ったことが利用者増につながったものと思われる。	
福島交通(株) ○須賀川市内西循環バス ・公立病院先回り ・市民温泉先回り	地域住民の利用促進を図るため、チラシ配布や広報、市HP等で周知を図る。	【前回の評価結果】 今後も啓発活動を行うとともに、JRとの乗り継ぎを考慮したダイヤ改正、運行経路の見直しなど、引き続き利便性の向上を図る。また、交通不便地域の解消に向け新規路線の運行を目指す。 【評価結果の反映状況】 令和4年4月1日から新規路線の運行を開始し、利用者の利便性の向上を図った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 【目標値】 20,548人/年(5.5人/1便) 【実績値】 25,733人/年(6.8人/1便) 【達成率】125.2% 引き続き、運行日を平日、土曜日運行することにより、利便性の向上を図ったことが利用者増につながったものと思われる。	今後も啓発活動を行うとともに、JRとの乗り継ぎを考慮したダイヤ改正、運行経路の見直しなど、引き続き利便性の向上を図る。また、交通不便地域の解消に向け新規路線の運行を目指す。
福島交通(株) ○須賀川市内あおば循環バス ・あおば先回り ・まちなか先回り				【目標値】 1,845人/年(2.5人/1便) 【実績値】 2,975人/年(4.0人/1便) 【達成率】161.2% 実証運行調査の実施結果をもとに便数及びダイヤを調整したことにより、利用者の利便性の向上が図られ、想定より利用者増につながったものと思われる。	

※枠の大きさの変更は可能です。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 5年 1月19日

協議会名:	須賀川市総合交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>須賀川市は福島県中部に位置し、面積は279.55平方キロメートル、人口は73,800人、平成17年4月に須賀川市・長沼町・岩瀬村が合併した。本市の公共交通の大きな役割を担っている路線バスについては、年々利用者が減少している一方で、路線維持のための補助金は高い水準で推移しており、新たな公共交通の手段として平成21年2月から運行した須賀川市乗合タクシーは、現在、運行エリアを限定している状況にあり、公共交通空白エリアの解消に至っていない状況である。</p> <p>東西循環バスは、市民ニーズの高い中心市街地の施設を経由する一方で、路線バスの廃止予定地域の代替機能を考慮する運行ルートを設定を行い、あおば循環バスは公共交通空白地域である郊外のニュータウンと、中心市街地を結ぶ運行ルートを設定し、東西循環バスと補完しあうことで、中心市街地の公共交通空白地域の解消及び市民の更なる交通利便性の向上を図る。</p>

## 生活交通確保維持改善計画

### 目的・必要性

須賀川市内東西循環バスは、市民ニーズの高い中心市街地の施設を経由する一方で、路線バスの廃止予定地域の代替機能を考慮する運行ルートの設定を行い、同あおば循環バスは公共交通空白地域である郊外のニュータウンと、中心市街地を結ぶ運行ルートを設定し、東西循環バスと補完しあうことで、中心市街地の公共交通空白地域の解消及び市民の更なる交通利便性の向上を図る。

### 確保・維持する系統の概要

【地域内フィーダー系統】  
須賀川市内循環バス

- ・系統数：6系統  
（東循環バス2系統）  
（西循環バス2系統）  
（あおば循環バス2系統）
- ・運賃：1回大人100円、子供及び障がい者50円
- ・運行日：月～土（※あおば循環バスは平日のみ）  
（祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く）



### 事業・実施主体

地域住民の利用促進を図るため、チラシ配布や広報、市HP等で周知を図る。  
(須賀川市、事業者)

### 定量的な目標・効果

【目標】年間輸送人員 東循環バス 26,182人(1便当たり 9.5人)  
西循環バス 20,548人(1便当たり 5.5人)  
あおば循環バス 1,845人(1便当たり 2.5人)

【効果】・対象路線を維持することで、中心市街地の公共交通空白地域の解消につながり、交通弱者である高齢者や学生の交通手段が確保できる。また、公共交通を身近に利用でき、公共機関・商業施設・医療機関・駅等へのアクセスが向上し、市民生活の質的向上へ繋がる。  
・地域間幹線や他の路線、JRなどを連結させることで広域的な運行体系が確保される。

### 基礎データ

合併状況：平成17年4月に須賀川市・長沼町・岩瀬村が合併  
人口：73,800人（令和4年10月1日現在）  
面積：279.55平方キロメートル  
高齢化率：30.0%（令和4年10月1日現在）  
協議会開催数：協議会4回開催（令和3年10月～令和4年9月）

### 前回の評価結果

【達成状況(結果)】東循環バス(目標)25,943人(実績)29,613人(達成率)114.1%  
西循環バス(目標)20,216人(実績)22,748人(達成率)112.5%  
【改善点(評価)】今後も啓発活動を行うとともに、JRとの乗り継ぎを考慮したダイヤ改正、運行経路の見直しなど、引き続き利便性の向上を図る。

### 評価項目

### 実施状況、目標・効果の達成状況

【実施状況等】・対象路線を維持することで、中心市街地の公共交通空白地域の解消につながり、交通弱者である高齢者や学生の交通手段を確保できた。また、新規路線の運行を開始したことにより回遊性の向上に加え、公共交通を身近に利用できる市民が増加し、公共機関・商業施設・医療機関・駅等へのアクセスの利便性を向上したことが、市民生活の質的向上へ繋がった。  
・地域間幹線等の路線、JRなどを連結させることで広域的な運行体系が確保された。

【実績】東循環バス(実績)31,054人(達成率)118.6%  
西循環バス(実績)25,733人(達成率)125.2%  
あおば循環バス(実績)2,975人(達成率)161.2% [内訳]A:3件

※評価の判定基準

- ・A ⇒ 目標達成100%以上
- ・B ⇒ 目標達成80%以上100%未満
- ・C ⇒ 目標達成率80%未満、又は、補助対象外(1運行当たり2人未満、運行割合30%未満)

### 事業の今後の改善点

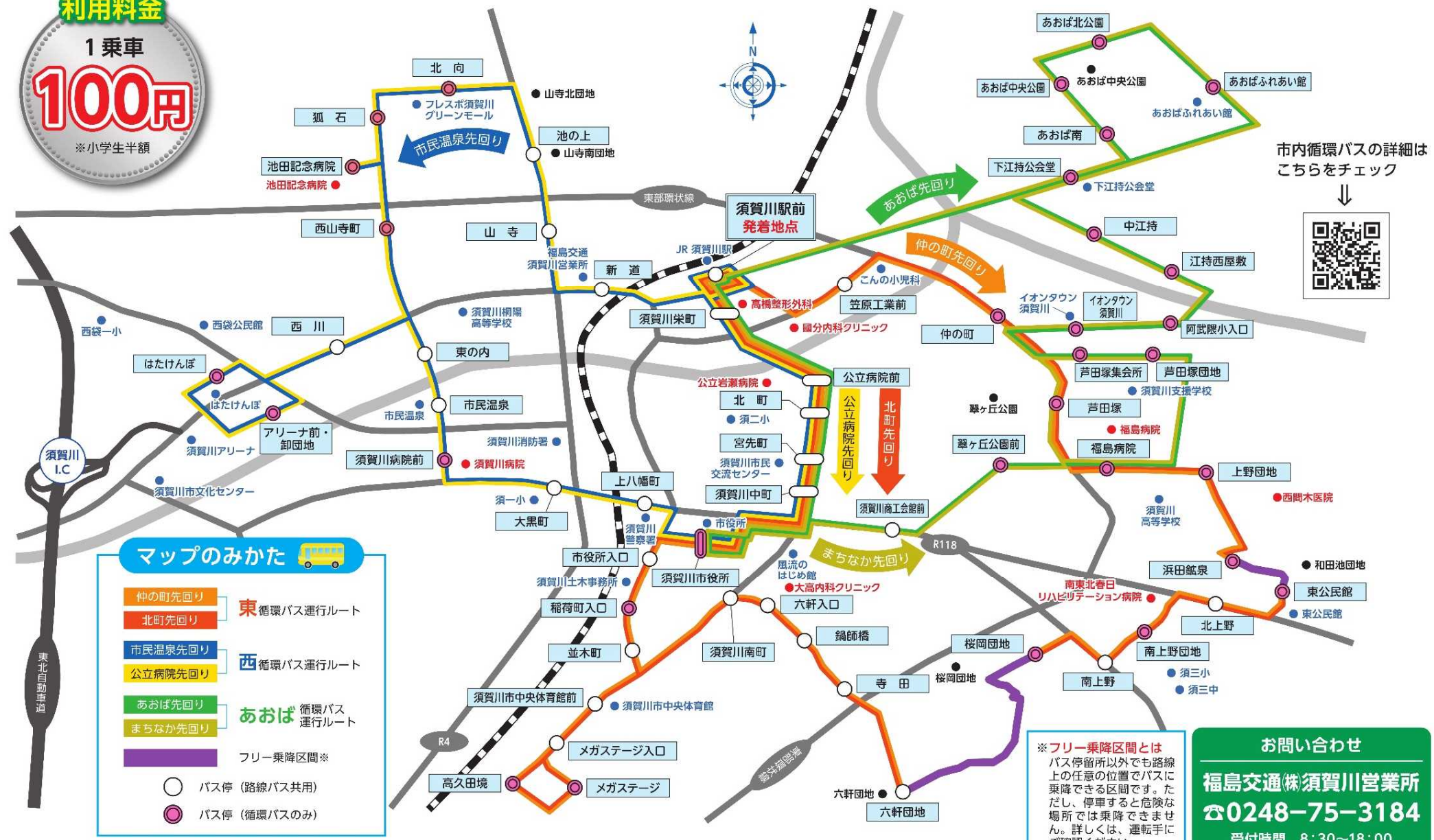
今後も既存の循環バスの啓発活動を行うとともに、JRとの乗り継ぎを考慮したダイヤ改正、運行経路の見直しなど、引き続き利便性の向上を図る。

新規路線の運行を検討し、交通不便地域の解消を図る。

# 須賀川市地域公共交通活性化協議会

【路線図】

**利用料金**  
1乗車  
**100円**  
※小学生半額



市内循環バスの詳細はこちらをチェック



**マップのみかた**

- 仲の町先回り 東循環バス運行ルート
  - 北町先回り 東循環バス運行ルート
  - 市民温泉先回り 西循環バス運行ルート
  - 公立病院先回り 西循環バス運行ルート
  - あおば先回り あおば循環バス運行ルート
  - まちなか先回り あおば循環バス運行ルート
  - フリー乗降区間※
- バス停 (路線バス共用)  
● バス停 (循環バスのみ)

※フリー乗降区間とは  
バス停留所以外でも路線上の任意の位置でバスに乗降できる区間です。ただし、停車すると危険な場所では乗降できません。詳しくは、運転手にご確認ください。

**お問い合わせ**  
**福島交通(株)須賀川営業所**  
**☎0248-75-3184**  
受付時間 8:30~18:00

※運行時刻は裏面をご覧ください。

